

- 調査研究課題名「 リスクベース意思決定概念の社会的受容 」  
 ○代表者名「 北村 正晴 」  
 ○中核機関名「 東北大学大学院工学研究科 」

## 調査研究の目標・概要

### 1. 目的

21世紀型社会は、科学技術を基盤とした「知識型社会」と考えられているが、こうした中で、国民の多くが原子力施設や遺伝子工学利用施設などに代表される科学技術システムについて不安感を有しており、これらのシステムの社会的受容が必ずしも円滑に進んでいない。この結果として、先端科学技術の研究開発や社会への定着が阻害される恐れもなしとしない。この背景には①わが国の国民には、リスクやそれを参照した意思決定概念が定着しておらず、科学技術リスクの評価とその受け取り方についての合意形成が進んでいない、②一方で技術システムリスク評価・伝達手法にも方法論としての不十分さがある等の状況がある。これらの状況を打開するには、工学、社会学、政治学、心理学の各学問分野の知見を統合した政府の施策の策定と実施が必要と考える。その内容の体系化、明示化を目的として本調査研究を実施するものである。

### 2. 内容

東北大学大学院工学研究科に平成14年4月から設置される「技術社会システム専攻」の「リスク評価・管理学分野」を中核に、工学、社会学、政治学、心理学、法学などの各学問分野専門家、公益法人、民間企業等との連携により、調査研究を行う。具体的には、(1)潜在危険を有する施設が立地している地域の住民を対象として実施され公表されている意識調査結果の詳細分析と補完的調査の実施、(2)現在のリスク評価・伝達手法の制約と問題点の調査と明示、(3)調査(1)の結果に基づくリスク認知に関する構造モデル構築、(4)前2項目の結果を踏まえたリスク評価・伝達手法上の制約と問題点の解決方針策定、(5)前記問題解決方針案を具体化しリスクベース意思決定概念の社会的受容を推進するための政治的施策を学校・社会人教育の面とリスク評価・伝達技術の両面につき提言する。

### 3. 俯瞰的・融合的視点

技術システム立地地域における住民のリスク認知に関する意識調査やモデル構築を社会学、心理学等の専門家の参画を得て合理的に進めること、またモデル構築や問題点明確化、政策策定などの各フェーズにおいては政治学、法学、行政ならびに金融専門家や住民側からの参画者も得て意見集約、合意形成を進めることで人文・社会科学も含めた広い視点からの分析と提言が可能である。

### 4. 一般からの意見の反映方法

前項までに記したとおり、本調査研究では地域住民は単なる調査対象者ではなく意思決定参画者として位置付けられている。また立地点からは離れている都市住民の典型的メンバー複数名もステークホルダーとして参画願う計画であり、一般からの意見反映には十分に配慮している。

## 調査研究により期待される提言

科学技術開発には社会側の理性的なリスク受容は欠かせない要件である。ただし、その前提としては技術システムのリスクが合理的なレベルまで低く抑えられていること、そしてその結果が非専門家である地域住民や一般市民が了解し納得できるメッセージとして伝達されることが必要である。このような相互理解、了解の実現を目指して(1)リスク評価・伝達方法論の改良高度化とその普及拡大を促進する科学技術政策を提言する、(2)改良高度化されたリスク評価結果が正当に了解された上で当該技術システムに関する受容または拒否の意思決定がなされるような社会的基盤形成のための学校教育および社会人教育のための政策を提言する。

## 調査研究体制図

- 調査研究課題名 「 リスクベース意志決定概念の社会的受容 」  
○代表者名 「 北村 正晴 」  
○中核機関名 「 東北大学大学院工学研究科 」

### リスクベース意志決定概念の社会的受容

平成  
一四  
年度

技術システムリスクに関する  
立地点住民、都市圏住民意識  
の調査と分析

- ・ (株) 社会安全研究所

技術のリスク評価・伝達手法  
の制約と問題点調査と明示

- ・ (株) 三菱総合研究所
- ・ 東北大学大学院工学研究科  
技術社会システム専攻

平成  
一五  
年度

リスク認知に関する  
構造モデル構築

- ・ (株) 社会安全研究所
- ・ 東北大学大学院工学研究科  
技術社会システム専攻

技術のリスク評価・伝達手法上の  
問題点解決方法策定

- ・ (株) 三菱総合研究所
- ・ 東北大学大学院工学研究科  
技術社会システム専攻

リスクベース意志決定概念の社会的受容推進のための方策に関する分析

- ・ 東北大学大学院工学研究科 技術社会システム専攻

### 期待される提言

- (1) リスク評価・伝達方法論の改良高度化とその普及拡大を促進する科学技術政策を提言する。
- (2) 改良高度化されたリスク評価結果が正當に了解された上で当該技術システムに関する受容または拒否の意思決定がなされるような社会的基盤形成のための学校教育および社会人教育のための政策を提言する